

令和6年度及び令和7年度大学入学者選抜について（予告）

本学では、他の分野と比較して特に女子学生の占める割合の少ない理工系分野における女性の活躍推進を目指し、総合型選抜及び学校推薦型選抜において、物質理工学院、情報理工学院、生命理工学院、環境・社会理工学院の4学院では、令和6年度の入学者選抜（令和5年度実施）から計58人の女子枠を設定します。試験制度の大幅な変更を考慮し、理学院、工学院では、令和7年度の入学者選抜（令和6年度実施）から設定し、全学院で計143人の女子枠を設定します。

なお、詳細は東工大ニュース「総合型・学校推薦型選抜で143人の『女子枠』を導入」(<https://www.titech.ac.jp/news/pdf/news-31129-pd2.pdf>)でも公表していますので、参照してください。

また、一般選抜（前期日程）においては、令和6年度の入学者選抜で募集人員のみ変更し、令和7年度入学者選抜（令和6年度実施）では、平成30年告示高等学校学習指導要領に対応した出題教科・科目に変更されることに伴い、大学入学共通テストの受験を要する教科・科目を変更します。

記

【総合型選抜】

1. 女子枠の設定時期

令和6年度入学者選抜：物質理工学院、情報理工学院、環境・社会理工学院

令和7年度入学者選抜：理学院、工学院

2. 募集人員

学院	系 ※1	募集人員 ※2			出願時期
		現行	一般枠※3	女子枠※4	
理学院	数学系	/	/	15人	令和6年 12月
	物理学系				
	化学系				
	地球惑星科学系				
工学院	機械系	34人	/	70人	令和6年 12月
	システム制御系				
	電気電子系				
	情報通信系				
	経営工学系				
物質理工学院	材料系	18人	20人	20人	令和5年 12月
	応用化学系				
情報理工学院	数理・計算科学系	6人程度	6人	14人	令和5年 12月
	情報工学系				
生命理工学院	生命理工学系	15人	15人	/	令和5年 12月
環境・社会理工学院	A 建築学系	7人	8人	3人	令和5年 12月
	B 土木・環境工学系	5人	6人	3人	
	C 融合理工学系	5人	6人	3人	
全学合計		90人	61人	128人	/

※1 「系」欄は2年目以降で所属可能な系を示す。

※2 選考の結果、期待する水準に達した者が少なく、合格者数が募集人員に満たない場合は、その欠員を一般選抜（前期日程）の募集人員に加える。

※3 性別によらずに出願できる入試区分を「一般枠」と称する。

※4 女性のみが出願できる入試区分を「女子枠」と称する。

3-1. 令和6年度入学者選抜：共通テストの受験を要する教科・科目

教科	科目
国語	「国語」
地理歴史、 公民	「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」, 「現代社会」, 「倫理, 政治・経済」から1科目
数学	「数学I・数学A」, 「数学II・数学B」の2科目
理科	「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から2科目
外国語	「英語(リスニングを含む。)」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」から1科目

3-2. 令和7年度入学者選抜：共通テストの受験を要する教科・科目

教科	科目
国語	「国語」
地理歴史、 公民	「歴史総合, 日本史探究」, 「歴史総合, 世界史探究」, 「地理総合, 地理探究」, 「公共, 倫理」, 「公共, 政治・経済」から1科目
数学	「数学I・数学A」, 「数学II・数学B・数学C」の2科目
理科	「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から2科目※
外国語	「英語(リスニングを含む。)」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」から1科目
情報	「情報I」

※ 理学院のみ、理科2科目の選択は「物理」及び「化学」に限る。

4. 第1段階選抜

上記3. で指定する共通テスト及び調査書等の出願書類を用いて、第1段階選抜を行う。

5. 第2段階選抜

第1段階選抜に合格した者に対して、総合問題と、共通テストの得点（情報理学院、環境・社会理学院を除く。）及び調査書等の提出書類を総合的に評価し、合格者を決定する。

一般枠と女子枠を併願する場合、各枠で判定した結果、両方合格であれば女子枠としての合格とする。

【一般枠】

学院	総合問題	内 容
理学院		
工学院		
物質理学院	筆記	実施しない
	面接	科学的な知識及び考え方について試問し、考察力、表現力とともに物質についての科学技術を学ぼうえでの適性を評価する。
情報理学院	筆記	実施しない
	面接	志願者の活動実績報告書※2に関する発表や質疑応答等に基づき、情報に対する適性・素養・説明能力を評価する。

生命理工学院	筆記	生物に関する設問により、基礎学力、論理的な思考力及び記述力を評価する。
	面接	生命理工学分野に対する志望動機、学習意欲、論理的な思考力及び適性を評価する。
環境・社会理工学院※1	A	造形課題 「数学Ⅲ」程度までの数学を応用した建築に関連する形態の造形、スケッチ及び説明文を解答させ、建築・都市空間の創造力を評価する。
	B	面接 (筆記を含む。) 国内外の社会や環境に関わる公共的な課題に対して問題の所在を整理し、解決できる素養並びにその表現の能力を評価する。
	C	面接 グローバル化する世界の環境及び社会的な問題について見解を論理的に形成し、それを表明し、審査員と質疑応答する面接を行う。これによって論理的な思考力、表現力、対話によって思考を深める力を評価する。

※1 環境・社会理工学院では、学士課程2年目の系所属の際にAを受験し合格した者は建築学系に、Bを受験し合格した者は土木・環境工学系に、Cを受験し合格した者は融合理工学系に、それぞれ所属する。

※2 情報理工学院のみ必要書類。志願者の活動や研究を志願者本人が記載する。

#### 【女子枠】

学院	総合問題	内 容	
理学院	筆記	数学	「数学Ⅲ」を主な出題範囲とする筆記試験を行う。
		物理	共通テスト「物理」の結果で代用する。
		化学	共通テスト「化学」の結果で代用する。
	面接	理学分野に対する志望動機、学習意欲、論理的な思考力、及びそれらを表現する能力を評価する。	
工学院	筆記	実施しない	
	面接	女性活躍社会に貢献するために本学工学院で学びたいこと、及び自身の将来像をふまえた志望動機、与えられた物理や数学（「数学Ⅲ」を含む。）のテーマに関して論理的かつ明快に説明する能力を評価する。	
物質理工学院	筆記	実施しない	
	面接	科学的な知識及び考え方について試問し、考察力、表現力とともに物質についての科学技術を学ぼうえでの適性を評価する。また、女性が活躍できる環境調和型社会に貢献するために本学物質理工学院で学びたいこと、及び自身の将来像をふまえた志望動機を論理的かつ明快に説明する能力を評価する。	
情報理工学院	筆記	実施しない	
	面接	志願者の活動実績報告書※2に関する発表や質疑応答等に基づき、情報に対する適性・素養・説明能力を評価する。また、女性活躍社会に貢献するために本学情報理工学院で学びたいこと、及び自身の将来像をふまえた志望動機を論理的かつ明快に説明する能力を評価する。	

生命理工学院			
環境・社会理工学院 ※1	A	造形課題	「数学Ⅲ」程度までの数学を応用した建築に関連する形態の造形、スケッチ及び説明文を解答させ、建築・都市空間の創造力を評価する。また、活動実績報告書※2の記載内容について評価する。
	B	面接 (筆記を含む。)	国内外の社会や環境に関わる公共的な課題に対して問題の所在を整理し、解決できる素養並びにその表現の能力を評価する。また、活動実績報告書※2の記載内容について評価する。
	C	面接	グローバル化する世界の環境及び社会的な問題について見解を論理的に形成し、それを表明し、審査員と質疑応答する面接を行う。これによって論理的な思考力、表現力、対話によって思考を深める力を評価する。また、活動実績報告書※2の記載内容について評価する。

※1 環境・社会理工学院では、学士課程2年目の系所属の際にAを受験し合格した者は建築学系に、Bを受験し合格した者は土木・環境工学系に、Cを受験し合格した者は融合理工学系に、それぞれ所属する。

※2 情報理工学院及び環境・社会理工学院の必要書類。

情報理工学院では、志願者の活動や研究を志願者本人が記載する。

環境・社会理工学院では、これまで授業や課外で取り組んだ活動及びそれらの活動を通して養われた能力・考え方のうち、環境や社会とのかかわりでアピールできるものを記載する。

【学校推薦型選抜】

1. 女子枠の設定時期

令和6年度入学者選抜：生命理工学院

2. 募集人員

学院	系 ※1	募集人員 ※2			出願時期
		現行	一般枠※3	女子枠※4	
理学院	数学系	8人	8人	/	令和5年12月
	物理学系				
	化学系				
	地球惑星科学系				
生命理工学院	生命理工学系	/	15人	15人	令和5年12月
全学合計		8人	23人	15人	/

※1 「系」欄は2年目以降で所属可能な系を示す。

※2 選考の結果, 期待する水準に達した者が少なく, 合格者数が募集人員に満たない場合は, その欠員を一般選抜(前期日程)の募集人員に加える。

※3 性別によらずに出願できる入試区分を「一般枠」と称する。

※4 女性のみが出願できる入試区分を「女子枠」と称する。

3. 推薦人員

学校長が同一の生徒を推薦できるのは, 一つの学院に限る。

理学院に学校長が推薦できる人数は2人までとする。ただし, 推薦要件③により推薦する場合はその人数に含まない。

生命理工学院に学校長が推薦できる人数は2人までとする。

生命理工学院に女子生徒を推薦する場合, 「一般枠」, 「女子枠」, 「一般枠と女子枠」のいずれかを選択する。「一般枠と女子枠」を選択され, 両方合格であれば女子枠としての合格とする。

4-1. 令和6年度入学者選抜：推薦要件

学院	推薦要件
理学院	<p>理学における高い能力を示す以下の①, ②, ③のいずれかに該当し, 学校長が責任をもって推薦でき, 合格した場合には必ず入学することを確約できる者。</p> <p>①<u>正規の授業科目</u>の一環として実施した課題研究(理学及びそれに関連した内容に限る)で主導的な役割を果たし, 優れた成果を挙げてそれを取りまとめて発表した者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題研究の例 1. SSH の課題研究で〇〇〇に関する研究を行い, 全国又は地域の研究交流会等で発表。</li> <li>・課題研究の例 2. 卒業研究として〇〇〇に関する研究を行い, 校内で発表。</li> <li>・課題研究の例 3. 総合学習で行った研究成果を大学主催や地区の研究交流会等で発表。</li> </ul> <p>②<u>課外活動</u>において理学に関連した研究を行って優れた成果を挙げ(主導的な</p>

	<p>役割を果たしたことが必要), それをとりまとめて校外の参加者を含む学校内外で発表したことを客観的に示す資料を提出できる者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課外活動の例 1. ○○部のクラブ活動で2年間継続して研究を実施し, 校外の参加者も含む学校内外で開催の研究会, 研究交流会等で発表。</li> <li>・課外活動の例 2. 夏休みに10日間継続して△△で野外調査を実施し, 校外の参加者も含む学校内外での研究会, 研究交流会等で発表。</li> </ul> <p>③数学, 物理, 化学, 地学のいずれかの国際科学オリンピックに日本代表として出場した者, 又は国際科学オリンピックの国内予選に相当する地区大会等で優秀な成績を収めた者</p> <p>上記の①及び②における「優れた成果」とは, 学校内で現在及び過去の生徒との比較において優れていると学校長が認定できるものを指す。</p>
生命理工学院	<p>以下の①, ②, ③の全てに該当し, 学校長が責任をもって推薦でき, 合格した場合には必ず入学することを確約できる者。</p> <p>①生命理工学院に対する明確な志望理由と学修の熱意を有し, 学習成績・人物ともに特に優れる者</p> <p>②「数学Ⅰ」, 「数学Ⅱ」, 「数学Ⅲ」, 「数学A」, 「数学B」の全てを履修, 又は履修見込みの者</p> <p>③理科(生物, 物理, 化学)のうち2科目以上を履修している者</p>

#### 4-2. 令和7年度入学者選抜：推薦要件

学院	推薦要件
理学院	令和6年度入学者選抜の推薦要件と同一
生命理工学院	<p>以下の①, ②, ③の全てに該当し, 学校長が責任をもって推薦でき, 合格した場合には必ず入学することを確約できる者。</p> <p>①生命理工学院に対する明確な志望理由と学修の熱意を有し, 学習成績・人物ともに特に優れる者</p> <p>②「数学Ⅰ」, 「数学Ⅱ」, 「数学Ⅲ」, 「数学A」, 「数学B」, 「数学C」の全てを履修, 又は履修見込みの者</p> <p>③理科(生物, 物理, 化学)のうち2科目以上を履修している者</p>

#### 5-1. 令和6年度入学者選抜：共通テストの受験を要する教科・科目

教科	科目
国語	「国語」
地理歴史, 公民	「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」, 「現代社会」, 「倫理, 政治・経済」から1科目
数学	「数学Ⅰ・数学A」, 「数学Ⅱ・数学B」の2科目
理科	「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から2科目
外国語	「英語(リスニングを含む。)」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」から1科目

5-2. 令和7年度入学者選抜：共通テストの受験を要する教科・科目

教科	科目
国語	「国語」
地理歴史, 公民	「歴史総合, 日本史探究」, 「歴史総合, 世界史探究」, 「地理総合, 地理探究」, 「公共, 倫理」, 「公共, 政治・経済」から1科目
数学	「数学Ⅰ・数学A」, 「数学Ⅱ・数学B・数学C」の2科目
理科	「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から2科目
外国語	「英語(リスニングを含む。)」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」から1科目
情報	「情報Ⅰ」

6. 選抜方法

学院	一般枠	女子枠
理学院	個別学力検査を免除し, 大学入学共通テスト(以下「共通テスト」という。)の成績, 推薦書, 研究内容の要約並びに, 調査書の内容のうち学業成績及び推薦理由に関する部分を総合的に評価し, 合格者を決定する。	
生命理工学院	個別学力検査を免除し, 共通テストの成績, 推薦書, 調査書及び志望理由書の内容を総合的に評価し, 合格者を決定する。	個別学力検査を免除し, 共通テストの成績, 推薦書, 調査書, 志望理由書及び学修計画書※の内容を総合的に評価し, 合格者を決定する。

※ 生命理工学院のみの必要書類。「女子枠」又は「一般枠と女子枠」に推薦する場合(「一般枠」の場合は提出不要。)  
「目指すキャリア」と入学後に身に付けたい学修内容を, 志願者本人が記載する。

【一般選抜（前期日程）】

1. 募集人員

学院	系 ※	募集人員		
		現行	令和6年度	令和7年度
理学院	数学系	143人	143人	128人
	物理学系			
	化学系			
	地球惑星科学系			
工学院	機械系	314人	314人	278人
	システム制御系			
	電気電子系			
	情報通信系			
	経営工学系			
物質理工学院	材料系	160人	138人	138人
	応用化学系			
情報理工学院	数理・計算科学系	86人	72人	72人
	情報工学系			
生命理工学院	生命理工学系	135人	105人	105人
環境・社会理工学院	建築学系	92人	80人	80人
	土木・環境工学系			
	融合理工学系			
全学合計		930人	852人	801人

※ 「系」欄は2年目以降で所属可能な系を示す。

2-1. 令和6年度入学者選抜：共通テストの受験を要する教科・科目

教科	科目
国語	「国語」
地理歴史、 公民	「世界史B」，「日本史B」，「地理B」，「現代社会」， 「倫理，政治・経済」から1科目
数学	「数学Ⅰ・数学A」，「数学Ⅱ・数学B」の2科目
理科	「物理」，「化学」，「生物」，「地学」から2科目
外国語	「英語(リスニングを含む。)」，「ドイツ語」，「フランス語」， 「中国語」，「韓国語」から1科目

2-2. 令和7年度入学者選抜：共通テストの受験を要する教科・科目

教科	科目
国語	「国語」
地理歴史、 公民	「歴史総合，日本史探究」，「歴史総合，世界史探究」，「地理総合， 地理探究」，「公共，倫理」，「公共，政治・経済」から1科目
数学	「数学Ⅰ・数学A」，「数学Ⅱ・数学B・数学C」の2科目

理 科	「物理」，「化学」，「生物」，「地学」から2科目
外 国 語	「英語(リスニングを含む。)」，「ドイツ語」，「フランス語」，「中国語」，「韓国語」から1科目
情 報	「情報Ⅰ」

### 3-1. 令和6年度入学者選抜：個別学力検査の実施教科・科目

科 目	科 目 内 容	選 択 方 法
数 学	「数学Ⅰ」，「数学A」，「数学Ⅱ」，「数学B(数列，ベクトル)」，「数学Ⅲ」を，その総合問題や応用問題を含めて，『数学』として出題する。	必須
物 理	「物理基礎」，「物理」を合わせて『物理』として出題する。	必須
化 学	「化学基礎」，「化学」を合わせて『化学』として出題する。	必須
英 語	「コミュニケーション英語Ⅰ」，「コミュニケーション英語Ⅱ」，「コミュニケーション英語Ⅲ」を合わせて『英語』として出題する。	必須

### 3-2. 令和7年度入学者選抜：個別学力検査の実施教科・科目

科 目	科 目 内 容	選 択 方 法
数 学	「数学Ⅰ」，「数学A(図形の性質，場合の数と確率)」，「数学Ⅱ」，「数学B(数列)」，「数学C(ベクトル，平面上の曲線と複素数平面)」，「数学Ⅲ」を，その総合問題や応用問題を含めて，『数学』として出題する。	必須
物 理	「物理基礎」，「物理」を合わせて『物理』として出題する。	必須
化 学	「化学基礎」，「化学」を合わせて『化学』として出題する。	必須
英 語	「英語コミュニケーションⅠ」，「英語コミュニケーションⅡ」，「英語コミュニケーションⅢ」，「論理・表現Ⅰ」，「論理・表現Ⅱ」，「論理・表現Ⅲ」を合わせて『英語』として出題する。	必須

## 4. 旧教育課程履修者※に対する経過措置

旧教育課程履修者に対する令和7年度入学者選抜での経過措置は，次のとおりとします。

#### (1) 大学入学共通テストにおける経過措置

大学入試センターから具体的な経過措置が公開された後に公表します。

#### (2) 個別学力検査における経過措置

各科目とも，旧教育課程履修者を考慮するものの，特別な経過措置はとらない。

※「旧教育課程」とは，平成21年3月告示の高等学校学習指導要領に基づく教育課程をいう。

「旧教育課程履修者」とは，高等学校(中等教育学校の後期課程並びに特別支援学校の高等部を含む。)に令和4年4月に入学し，令和7年3月に卒業見込みの者以外の者をいう。